

日時：平成 26 年 10 月 25 日（土）14：00～16：30
場所：熊取交流センター（煉瓦館）「コットンホール」
大阪府泉南郡熊取町五門西 1-10-1

対象：中学生 ～ 一般

定員：180 名（先着順）

参加費：無 料

申込方法：当日会場へお越しください



2014 京 都 大 学 原 子 炉 実 験 所 アトムサイエンスフェア講演会



講演 1：中島 健教授 研究炉の世界

熊取町にある京都大学研究用原子炉（研究炉）が運転を開始してから、今年でちょうど50年となりました。これまで全国の研究者が様々な研究を行っており、現在でも、がん治療法の研究など数多くの研究が進められています。では、研究炉とはどんな装置なのでしょうか、また発電炉と何が違うのでしょうか、安全性は大丈夫なのでしょうか。講演では、このような疑問に答えるとともに、研究炉がどのように役立てられているのかをご紹介します。

講演 2：森 義治教授 加速器の世界

昨年のノーベル物理学賞は“ヒッグス粒子（神の粒子）”という素粒子の存在を理論的に予言した研究者に贈られました。この素粒子の存在を実験的に示したのが「加速器」という実験装置なのです。加速器はこのような素粒子研究のみならず、一方で、原子力、医療など様々な分野で広く利用されています。講演では、加速器の仕組みとあわせて最近の原子力・核エネルギー分野への応用についてご紹介します。



京都大学原子炉実験所が開催するアトムサイエンスフェア講演会は毎年秋に行われ、どなたでも無料でご参加いただけるイベントです。詳細は以下の URL をご覧ください。

ホームページ：<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/public/asf/>

お問い合わせ

京都大学原子炉実験所総務掛

TEL: 072-451-2300（受付時間：平日 8：30～17：00）

